



こはやし
小林
なおや
直哉さん

就農年月：平成23年4月（就農時24歳）

就農場所：三方上中郡若狭町田井

出身地：埼玉県上尾市（非農家出身）

後継ぎのいない果樹園を譲り受けて就農！ ～都会の人間が田舎で農業をしたらいいと思う～

- ・(有)かみなか農楽舎で研修後、1年間、里親農家で梅栽培について勉強
- ・その後、地域の果樹園を譲り受けて、若狭梅の担い手として就農

経営内容

品目：梅 100a

販売先：JA 出荷、直販

労働力：本人、臨時雇用

農業を始めた

きっかけは？（就農の動機）

本を読んでいて「若者は農業をやったほうがいい」と書いてあったのでやってみようと思いました。

全国的な就農セミナーに参加して、若狭町の(有)かみなか農楽舎を知り、福井県での研修を開始しました。





就農までの道のり・苦労した点

1 栽培技術の習得

(有)かみなか農楽舎ではお米中心の研修だったため、里親農家で梅の研修を一年間やりました。合間にバイトしたお金で暮らしていたため、かなり貧乏・・・今思うとよく暮らしていたなと思います。

2 農地の確保や施設などの整備

町から梅産地である若狭町田井集落の農業者を紹介いただき、農地を借りることができました。

集落の栽培農家は高齢の方が多く、今後も貸していただける農地は増加すると思います。

ありがたいことに、必要な道具などは、集落の農家の方から貸りたり貰ったりできました。

施設は、補助事業を活用してパイプハウスを導入しました。これから作業小屋などを建てたいと考えています。

就農当初は大変なこともあります、農業は楽しいですよ。
どんなに貧乏になってもやめちゃいけません。



梅を栽培する仲間と
物販イベントで若狭梅をPR

